

どろんこだいすき

令和7年 11月4日
千代田区立昌平幼稚園
園長 大川 美紀子

『昌平キッズ』ビオトープだより NO. 239

季節外れの暑さもようやく収まり、秋らしい気候の日が増えました。園庭の自然からは、季節が進んでいることを感じます。心地よい気候の中、子どもたちは収穫の喜びを味わったり、見付けた物を遊びに取り入れたりして、身近な自然に親しみながら過ごしています。

みんなで育てた稻、ついに収穫！

夏休み期間中にぐんぐん育った田んぼの稻。今年も昨年並みの豊作です！稻刈り前日には雨が降り、当日は曇り空で雨が心配でしたが、収穫の日を迎えることができました。

園庭の田んぼの稻刈りをするのは5歳児きりん組です。今年は自分たちができるに大喜びしていました。実際に鎌を使って稻を刈るのですが、扱い方の説明を真剣に聞く姿からも、子どもたちの意欲を感じました。初めは保育者に手を添えられて行っていましたが、次第にコツをつかんでいきました。自分で刈った稻は麻紐や藁で束ね、稻架掛けして乾燥させています。



3歳児ひよこ組・4歳児うさぎ組のバケツ稻の生長がゆっくりだったので、同日に収穫はせず、きりん組が稻刈りをする様子や、保育者が稻架掛けをする様子を見ました。10月中旬にはバケツ稻の稻穂も垂れてきて、ついに収穫です。ひよこ組は、保育者が収穫する様子を見て、うさぎ組は、はさみを使って自分で収穫しました。



田んぼの土起こしや田植えを経て、みんなで大切に育ててきた稻。11月は収穫祭に向けて脱穀や糲摺りをしていきます。乾燥させている稻を見て、「いつ食べるの？」「収穫祭はまだ？」と楽しみにしている子どもたちです。今年度も保護者の方々には脱穀・糲摺りのお手伝いをしていただけます。登園時の時間帯に合わせて、遊戯室で行います。ご都合のつく方は、ご協力をよろしくお願いいたします。

土となかよし

秋植えの植物のために、地域協力者の方のご指導の下、“栄養たっぷりのいい土になるように”と手で土を混ぜて、土作りをしました。そして、一人一人が自分の鉢に球根を植えました。きりん組は、小学生になる頃に咲くのを楽しみに、チューリップを植えました。うさぎ組はスイセン、ひよこ組はクロッカスを植えました。進級する頃に開花するのが楽しみです。

きりん組はチューリップを植えるんだって！



植え方について教わりました

まずは鉢に土を入れるんだね。



ふかふかの土を作りました

栄養たっぷりの土になりますように！

ビオトープ

「どんぐり山にドングリは落ちているかな？」と、園庭に出ると様子を見にいく子どもたち。ドングリを拾い集めたり、ドングリの帽子を指人形のようにして遊んだりして楽しんでいます。

昨年はドングリが大豊作でしたが、今年はカラリンがたくさん実っています。少しずつ黄色く色付いてきました。また、ツバキの蕾がたくさんできています。寒さが深まっていくとともに、自然が変化していくことを、子どもと一緒にこれからも楽しんでいきます。



カラリン



ツバキの蕾

ビオトープクイズ

園庭で見付けた実の写真です。

この実の名前は何でしょう？

(ヒント：もうすぐ黄色くなります。風邪の予防にも良いと言われていて、〇〇〇のど飴としてお店にも売っています。)

1. ぶどう
2. れもん
3. かりん

11月7日（金）の登園時までに、解答用紙をビオトープクイズ応募箱に入れてください。

